

兵庫県BMビームライン（BL08B2）の 中間評価について

財団法人高輝度光科学研究センター
利用業務部

現在、SPring-8に設置された専用ビームラインは17本が稼働、1本が建設中（BL28XU 京都大学革新型蓄電池先端基礎科学ビームライン）、設置が決定し今後契約を締結するビームラインが2本（BL31IS レーザー電子光Ⅱビームライン、BL36XU 先端触媒構造反応リアルタイム計測ビームライン）あります。専用ビームラインの利用計画および装置の様子は、専用施設審査委員会における科学技術的な観点からの審査を経て、財団理事長が承認します。また、SPring-8のビームラインは設置可能な数が限定されていますので、専用ビームラインの利用計画は最長10年間の期限を設けています。専用ビームラインの使用開始後、運用期間の中間期に専用施設審査委員会において「専用施設の設置および利用に関する基本的考え方について」に基づき、その使用状況および研究成果等の評価を行います。これを受けて専用ビームラインの利用等の見直し（継続、改善、中止等）が行われます。

この度、「専用ビームライン据付工事着工申請」の承認日から5年が経過した兵庫県BMビームライン（BL08B2）について、平成22年7月29日に開催された第10回専用施設審査委員会において中間評価を行いました。評価結果については、十分な水準と認められたため、引き続きビームラインの運用を「継続」する事となりました。

『SPring-8利用者情報』発行お知らせメール 受信登録のお願い

～電子ジャーナル版が2011年2月号より発行となります～

『SPring-8利用者情報』は、2011年2月号（Vol.16 No.1 2月下旬発行予定）より電子ジャーナル版『SPring-8利用者情報』として、生まれ変わることになりました。従来通り年4回の季刊発行となり、2011年2月号よりWebサイト：<http://user.spring8.or.jp/sp8info/>にてご覧頂けます。また、『SPring-8利用者情報』発行お知らせメールの受信をご希望される方は、<http://user.spring8.or.jp>のお知らせメールアイコンよりご登録ください。（詳しくは別紙をご覧ください。）

最後に、永年冊子をご愛読いただきました皆さまに心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続き『WEB版SPring-8利用者情報』をご愛読頂きますようお願い申し上げます。

利用者情報編集委員長 牧田 知子